

平成30年度 自己評価

令和元年5月19日

学校法人さかえ学園谷津幼稚園

園長 萩原 栄

1. 幼稚園の教育目標

- 1、健康で明るく元気な子
- 2、仲良く遊べる子
- 3、良い悪いの区別ができて思いやりのある子
- 4、よく聞き、よく話し、よく見て、よく考え表現のできる子

2. 本年度の重点目標・課題

広々とした環境を生かしながら体力の向上を図る。

音楽教育の充実

近年多発している災害や暴漢から避難するすべを身に付ける

父母とのさらなる信頼関係を構築する

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

・教職員の評価点数をもとに判定。

表示方法

- A 概ね達成されている
B ある程度達成しているが、改善の余地あり
C 取り組みされているが成果が充分ではない
D 取り組みが充分ではない

評価項目	教員自己評価	園長判定	理由
① 保育の計画性	B	A	本園の教育目標、年間計画、教育要領を踏まえ又、園児一人一人の成長を勘案しながら全職員で計画を立てている。
② 保育の在り方 幼児への対応	B	B	一人一人の個性を理解しながら保育者が連携をして幼児の主体性と指導の関連性を大切に保育実践へとつなげ、その場に応じて適切な保育を展開している。
③ 教師としての資質、能力、適性	B	B	幼稚園教諭として専門的な能力を発揮するために自ら学び又組織の一員として他の教員と協力し、一つのチームであること、保育者として尊敬される様心掛けること。
④ 保護者への対応	A	A	幼稚園での一日保育体験などを実施、保育に参加しながらクラス担任の現場を理解してもらおうと同時に、保護者会を開くなどして父母の対立やクレームなどにならないように運営している。

⑤ 地域の自然や地域との関わり	C	B	園長や職員が地域の行事に参加し、年長組が小学校と交流見学をしているが、地域住民との交流が少ないので今後、園の行事に老人会の方などが参加していただけるようになりたい。
⑥ 研修と研究	B	B	地元の幼稚園協会、全埼玉私立幼稚園連合会等の行う研修会、園内研修などに参加しているが、更に実践と課題を決めて園内で研修を開催してほしい。

平成30年度自己評価・関係者評価・総括

学校関係者評価実施日

令和元年5月19日

学校法人さかえ学園谷津幼稚園

- A 十分達成されている。 4
- B 達成されている 3
- C 取り組みされているが成果が充分でない 2
- D 取り組みが不十分である 1

評価項目	自己評価集計	園長判定	理由	関係者評	集計平均	評価委員判定
① 保育の計画性	3.1	A	本園の教育目標、年間計画、教育要領を踏まえ又園児一人一人の成長を勘案しながら全職員で計画を立てている。	30	3.75	A
② 保育の在りかた 幼児への対応	2.9	B	一人一人の個性を理解しながら保育者が連携をして幼児の主体性と指導の関連性を大切に保育実践へとつなげ、その場に応じて適切な保育を展開している。	29	3.62	A
③ 教師としての資質、適正	3.1	B	幼稚園教諭として専門的な能力を発揮するために自ら学び又組織の一員として他の教員と協力しながら保育者として尊敬される様に行動しているようだ	27	3.37	B
④ 保護者への対応	3.2	A	父母による一日保育体験などを実践し保育への参加を促し又、早めに保護者会を開きクレームを起こさないように運営されている。	25	3.12	B
⑤ 地域の自然や地域との関わり	2.9	B	園長や職員が地域の行事に参加し、年長組が地元の小学生と交流見学をしているが、地域住民との交流が少ないので、今後園の行事に老人会の方などの	28	3.50	B

			参加をいただけるように取り組みたい。			
⑥ 研修と研究	3.1	B	地元の幼稚園協会、全埼玉私立幼稚園連合会等の行う研修会などに参加しているが、さらに実践と課題を決めて園内で研修会を開催してほしい。	28	3.50	B

◆評価集計・判定の方法について

学校評価委員 8 名による評価の集計とする。

回答数 8 名（2 名は当日欠席のため後日意思表示書による）

各評価委員の評価を、 A=4 点 B=3 点 C=2 点 D=1 点

判定	平均	集計数字
A	3.57 以上	25 以上
B	3.00～3.56	21～24
C	2.01～2.99	17～20
D	2.00 以下	16 以下

学校関係者評価委員会総評

教員の自己評価

それぞれの職員が自分の能力に応じて評価しているので、少しばらつきはあるが全体として振り返りを行い、反省をすることで前進している。

幼稚園の教育の全般は大変幅広くたくさんの項目になっているためいくつかに分けて時間をかけながら目標を達成するよう努力が必要である。

4. 本年度の重点課題総合的評価

- 1、広いグラウンドを生かして体力を養うことには体育講師の助けもあり目標に近づいている。
- 2、ピアノの指導も年少から教え始め年長の発表会には、ほぼ全員が課題曲を演奏できるようになった。
更に色々な音楽指導に取り組みたい。
- 3、防犯訓練などは職員が暴漢に扮して行っているが、怖がる子どももいて訓練のやり方にもうひと工夫が必要である。
- 4、父母との信頼関係については、保育体験の場を設けるなど保護者の幼稚園への理解を深める努力をしている。参加希望者が毎年増加しているので良い傾向にある。

5. 今後取り組むべき課題

- ①自ら健康で安全な生活を作り出す姿
- ②やってみることから、自信を持ちやり抜こうとする姿へ
- ③友達とかかわる中で互いの思いや考えなどを共有
- ④道徳性・規範意識の芽生え

《達成評価》

広々とした環境生かして様々な行事に取り組むことができた。例えば、交通安全の交通指導から、畑・マラソンのトラックなど、その行事ごとに表情を変えて活用している。

保護者の一日保育体験は保護者にも幼稚園を理解する上でとても良い結果になっている。

ピアノを活用しての音楽教育も、年長組の音楽発表会まで子どもたちも意欲的に取り組んでおり、落伍者もなくそれぞれ良い音を奏でていた。

また、保護者とは大きなトラブルもなく、子どもたちの対応についても喜んでいただき、各行事に参加している。

《要努力目標》

地域との関わりがあまりないので関係を築く

幼稚園の防犯対策について（アルソックと防犯契約在り）など父母に情報を提供する。

預り保育への更なる取り組み

《学校関係者評価 評価委員》

元父母の会会長 1名

父母代表 2名

元卒園児 1名

学識経験者 2名（設計士 1級建築士）

地区内幼稚園関係者 1名

園医 1名